

青森県埋蔵文化財調査センター

要 覧

〔令和6年度の実績・令和7年度の計画〕



令和7年度

目 次

青森県埋蔵文化財調査センター運営方針	1
--------------------	---

令和6年度の実績

1 埋蔵文化財発掘調査事業、整理・報告書刊行事業	
（1）発掘調査事業	2
（2）整理・報告書刊行事業	3
2 出土品等の保存・再整理	
（1）保存処理	4
（2）収蔵品の再整理	6
3 発掘調査事業に係る広報	
（1）現地見学会	7
（2）発掘体験・遺跡見学（令和6年度新規）	8
（3）速報展示（令和6年度新規）	8
（4）講師派遣（令和6年度新規）	8
（5）出張展示（令和6年度新規）	8
（6）あおもり発掘フェア	9
4 センター収蔵資料の活用	
（1）主催事業	10
（2）依頼による活用事業	16
5 刊行物一覧	21

令和7年度の計画

1 組織・職員現員・業務	22
2 埋蔵文化財発掘調査事業、整理・報告書刊行事業	
（1）発掘調査事業	23
（2）整理・報告書刊行事業	25
3 出土品等の保存・再整理	
（1）保存処理	26
（2）収蔵品の再整理	26
4 発掘調査事業に係る広報	
（1）現地見学会	26
（2）発掘体験・遺跡見学	26
（3）速報展示	26
（4）講師派遣	26

(5) 出張展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
(6) あおもり発掘フェア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
(7) 所内展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
5 センター収蔵資料の活用
(1) 主催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
(2) 依頼による活用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
6 令和7年度主要行事予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

資 料

1 図書の受入状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
2 文化財関係研修等への参加状況・・・・・・・・・・・・ 29

沿 革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

青森県埋蔵文化財調査センター運営方針

青森県埋蔵文化財調査センターは、県内の埋蔵文化財の発掘調査を行い、調査で得られた出土文化財や記録類を県民共有の財産として適切に収蔵・保管するとともに、その有効活用を図り、もって県民の文化の振興に資するため、次の事業を実施します。

- ① 埋蔵文化財の発掘調査の企画及び実施
- ② 埋蔵文化財の研究及び発掘調査報告書の刊行
- ③ 出土品その他の資料の整理、保存及び活用
- ④ 埋蔵文化財の調査及び保存に関する研修等市町村の支援
- ⑤ 埋蔵文化財に関する情報の収集及び埋蔵文化財保護の啓発

【令和6年度の実績】

1 埋蔵文化財発掘調査事業、整理・報告書刊行事業

開発事業により消滅する埋蔵文化財包蔵地を発掘調査し、記録保存のための報告書を作成・刊行する。

(1) 発掘調査事業

令和6年度は、5事業・6遺跡の発掘調査事業を行った。調査面積は16,200㎡、出土遺物箱数は段ボール箱93箱である。職員12名(延べ20名)が業務に従事した。

ア 国道338号大湊Ⅱ期バイパス道路改築事業(むつ市川守町遺跡)

所在地 むつ市川守町地内
調査期間 令和6年5月8日(水)～令和6年9月27日(金)
調査対象面積 5,500㎡
委託者 青森県県土整備部(道路課)
出土遺物 段ボール箱16箱

イ 国道279号横浜北バイパス道路改築事業

(ア) 横浜町林ノ後遺跡

所在地 上北郡横浜町字林ノ後、字中椈名木地内
調査期間 令和6年9月3日(火)～令和6年10月18日(金)
調査対象面積 2,200㎡
委託者 青森県県土整備部(道路課)
出土遺物 段ボール箱1箱

(イ) 横浜町林尻遺跡

所在地 上北郡横浜町字林尻地内
調査期間 令和6年11月1日(金)～令和6年11月29日(金)
調査対象面積 2,400㎡
委託者 青森県県土整備部(道路課)
出土遺物 段ボール箱1箱

ウ 稲盛千代町山田線道路改築事業(つがる市吉田遺跡)

所在地 つがる市森田町字下相野吉田地内
調査期間 令和6年6月4日(火)～令和6年9月20日(金)
調査対象面積 4,000㎡
委託者 青森県県土整備部(道路課)
出土遺物 段ボール箱65箱

エ 内童子渡沢外通常砂防事業（平内町大栗山遺跡）

所在地 東津軽郡平内町大字松野木字大栗山地内
調査期間 令和6年5月14日(火)～令和6年6月21日(金)
調査対象面積 1,100㎡
委託者 青森県県土整備部（河川砂防課）
調査結果 段ボール箱1箱

オ 下北北部地区中山間地域総合整備事業（風間浦村古釜谷平(2)遺跡）

所在地 下北郡風間浦村大字蛇浦字古釜谷平地内
調査期間 令和6年5月14日(火)～令和6年7月31日(水)
調査対象面積 1,000㎡
委託者 青森県農林水産部（農村整備課）
出土遺物 段ボール箱9箱

◇発掘調査実績

年 度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
事業数	7	6	5	5	5
遺跡数	7	6	7	5	6
調査面積(㎡)	18,000	12,200	25,930	8,020	16,200
出土遺物箱数	484	503	227	136	93

(2) 整理・報告書刊行事業

令和6年度は、5事業・5遺跡の整理・報告書刊行事業を行った。刊行した発掘調査報告書は4冊・4遺跡、計1,134頁で、令和8年度以降の報告書刊行を予定し整理作業を行った遺跡は1遺跡、170頁相当である。

ア 国道394号榎林バイパス道路改築事業（鉢森平(7)遺跡）

所在地 七戸町字鉢森平地内
刊行頁数 860頁
委託者 青森県県土整備部（道路課）

イ 国道279号横浜北バイパス道路改築事業（林ノ後遺跡）

所在地 横浜町字林ノ後、字中柵名木地内
刊行頁数 56頁
委託者 青森県県土整備部（道路課）

ウ 常海橋銀線道路建設事業（郷山前村元遺跡）

所在地 青森市浪岡大字郷山前字村元地内
刊行頁数 88頁
委託者 青森県県土整備部（道路課）

エ 弘前柏線道路改築事業（鳴瀬遺跡）

所在地 弘前市大字三世寺字鳴瀬地内
刊行頁数 130頁
委託者 青森県県土整備部（道路課）

オ 新青森県総合運動公園整備事業（米山（2）遺跡）

所在地 青森市大字宮田字米山地内
整理頁数 170頁相当（令和7年度刊行予定）
委託者 青森県県土整備部（都市計画課）

◇報告書刊行・整理事業実績

年 度		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
総事業数		6	7	6	6	5
総遺跡数		7	7	5	8	5
報 告 書 刊 行	遺跡数	7	6	3	5	4
	冊 数	7	6	4	4	4
	集番号	第616集～ 第622集	第625集～ 第630集	第633集～ 第636集	第641集～ 第644集	第647集～ 第650集
	総頁数	1,854	1,142	432	1,546	1,134
整 理	遺跡数	0	1	2	3	1
	相当頁数	0	250	900	424	170

2 出土品等の保存・再整理

（1）保存処理

発掘調査で出土した木製品や金属器等の脆弱な出土品は、そのまま空気中に保管すると乾燥による収縮、ひび割れ、酸化や錆等の劣化が進行するため、出土時の形状や状態を保つための保存処理が必要である。当センターでは、平成10年度に保存処理のための機器を導入して、出土品の保存処理を実施している。

ア センター内部での保存処理

令和6年度は、発掘調査報告書掲載出土品や非掲載出土品について、刊行時に保存処理を行わなかったものの保存処理を実施した。

◇令和6年度の実績

第80集 東通村浜通遺跡出土銅製品118点 BTA安定化处理
鉄製品3点 樹脂含浸強化処理
第538集 五所川原市十三盛遺跡出土木製品47点 真空凍結乾燥法
第579集 西目屋村川原平（1）遺跡出土木製品30点 PEG含浸処理開始
第613集 青森市米山（2）遺跡出土木製品4点 PEG含浸処理開始

◇過年度の保存処理実績

木製品

種別\年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
点数	0	35	0	17	47

※2年度及び4年度は機器の不調のため処理業務稼働せず

金属器

種別\年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
点数	0	0	0	4	120

※2年度～4年度は機器の不調のため処理業務稼働せず

イ 委託による再保存処理

当センター収蔵の木製品や金属器のうち、報告書刊行後に経年劣化がみられるものについて、委託により再保存処理を行うものである。平成29年度から文化庁の国庫補助事業を活用し実施している。

◇令和6年度の実績

第415集 八戸市林ノ前遺跡出土鉄製品1点

内訳：鉄鏃1点

◇再保存処理の実績

種別\年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
木製品	0	0	0	0	0
鉄製品	3	3	4	5	1
銅製品	0	0	0	0	0
合計	3	3	4	5	1

ウ X線透過撮影装置の使用

出土品の保存処理前に、内部構造や劣化状態を把握するため、X線透過撮影装置による撮影を行うものである。令和6年度の実績は以下のとおり。

◇令和6年度の実績（※は外部からの依頼による。）

第80集 東通村浜通遺跡 銅製品118点、鉄製品7点

第102集 弘前市境関遺跡 銅製品2点

第260集 五所川原市隠川（12）遺跡 鉄製品4点、銅製品2点

※ 特別史跡三内丸山遺跡 鉄製品6点

※ むつ市田名部館遺跡 鉄製品9点

※ 外ヶ浜町宇鉄遺跡 象嵌土製品8点

◇ X線透過撮影装置の実績

種別\年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
木製品	0	0	0	5	0
金属器	0	0	0	61	148
土製品	0	0	0	1	8
土器	0	0	0	2	0
合計	0	0	0	72	156

※ 2年度～4年度は機器の不調のため撮影実績なし

エ 赤外線撮影装置の使用

主に土器や木製品の表面に描かれた墨書を確認するために使用するもの。

◇ 令和6年度の実績

第613集 青森市米山（2）遺跡出土木製品 1点

未報告 つがる市吉田遺跡出土木製品 4点

◇ 赤外線撮影装置の使用実績

種別\年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
木製品	0	0	0	1	5
土器	0	0	0	4	0
土偶	0	0	0	1	1
合計	0	0	0	6	6

※ 2年度～4年度は機器の不調のため撮影実績なし

（2）収蔵品の再整理

既に報告書が刊行されている遺跡の出土品について適切な収蔵・保存状態を維持するため、センターが定めた収納保管に係るマニュアルに則して出土品の状態や収納状況を確認するための再整理業務を令和5年度から実施している。その過程で、今日的な視点から資料の見直しを行い、学術的に希少・重要な出土品を抽出し、これらの報告や公開も行う。市町村への譲与や、資料の公開・活用などの要望が寄せられた遺跡を優先的に再整理を行っている。

令和6年度は、第25集外ヶ浜町中ノ平遺跡出土品の再整理に加えて、これまでに東通村管内の遺跡で実施した発掘調査資料の再整理を行った。

ア 外ヶ浜町中ノ平遺跡出土品

第25集外ヶ浜町中ノ平遺跡出土品の再整理では、出土品の確認や、ラベル書き換え等の収納作業などを行った。また、あおもり発掘フェアにおいて、再整理した出土品や調査写真等を展示した。

イ 東通村管内の遺跡

これまでに東通村管内で実施した発掘調査の報告書8冊分、延べ53遺跡を対象として、出土品及び記録類の再整理を行った。

出土品の再整理としては、報告書に掲載された土器・石器32箱、掲載外の土器・石器24箱、金属製品276点などの状況を確認した。併行して、希少性・重要性のある遺物等の抽出作業も行った。

記録類の再整理としては、カールスライド、白黒、大判などの写真類がアルバム67冊、調査図面10冊、デジタルデータ14枚などを確認し、台帳を整備した。また、一部アルコールでの清浄作業やデジタル化作業なども行った。

◇再整理業務実績

年 度		5 年 度	6 年 度
対象報告書数		2	9
対 象 遺 跡 名		中ノ平遺跡	・中ノ平遺跡 ・浜通遺跡ほか
対 象 遺 跡 数		1	54
出 土 品	土器・石器類	321箱	56箱
	木・金属製品類 (脆弱遺物)	—	276点
記 録 類	写真類	—	67冊
	図面類	—	10冊
	デジタルデータ	—	14枚
特 記 事 項			中ノ平遺跡出土品等をおも り発掘フェアで展示

3 発掘調査事業に係る広報

(1) 現地見学会

埋蔵文化財発掘調査によって得られた成果を県民等に公開し、地域史への理解を深めてもらうとともに事業の周知を図った。

遺跡名	開催日	参加者数
古釜谷平(2)遺跡	令和6年7月6日(土)	18
吉田遺跡	令和6年8月24日(土)	68
川守町遺跡	令和6年9月7日(土)	77

◇開催実績

年 度	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度
開催遺跡数	※	1	1	3	3
参加者数(人)	—	70	72	212	163

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催せず

(2) 発掘体験・遺跡見学(令和6年度新規)

遺跡の発掘体験及び見学を通じて郷土の歴史を学び、埋蔵文化財への興味・関心を深めてもらうため実施した。

ア 発掘体験

団体名	遺跡名	開催日	参加者数
つがる市立柏小学校	吉田遺跡	令和6年7月4日(木)	38人
つがる市立瑞穂小学校	吉田遺跡	令和6年7月10日(水)	30人
むつ市立大湊小学校	川守町遺跡	令和6年7月18日(火)	38人
むつ市教育研修センター	川守町遺跡	令和6年7月23日(火)	1人

イ 遺跡見学

団体名	遺跡名	開催日	参加者数
平内町文化財審議会	大栗山遺跡	令和6年6月6日(木)	7人
青森大学むつキャンパス	川守町遺跡	令和6年8月7日(水)	3人
大畑公民館歴史探訪教室	川守町遺跡	令和6年9月5日(木)	11人
むつ市立大湊小学校	川守町遺跡	令和6年9月6日(金)	44人

(3) 速報展示(令和6年度新規)

発掘調査成果を速報として周知するため、遺跡周辺の公共施設等において、調査期間中を中心にパネル展示を実施した。

遺跡名	場 所	期 間
古釜谷平(2)遺跡	風間浦村中央公民館	令和6年5月～8月
林ノ後遺跡・林尻遺跡	道の駅よこはまトイレ・休憩施設	令和6年10月～12月

(4) 講師派遣(令和6年度新規)

主に市町村が主催する講座等に講師を派遣し、当該市町村における最新の発掘調査成果等を受講者に分かりやすく伝えた。

講座名	内 容	開催日	参加者数
平内カレッジ	発掘調査成果からみた平内町について	令和6年11月13日(水)	43人

(5) 出張展示(令和6年度新規)

最新の発掘調査成果を出土品及びパネルで展示するとともに、過去の調査成果も併せて紹介した。

場 所	期 間	参加者数
平内町歴史民俗資料館	令和6年8月1日(木)～18日(日)	45人
横浜町ふれあいセンター (第49回横浜町公民館まつり)	令和6年10月26日(土)・27日(日)	170人

(6) あおもり発掘フェア（旧青森県埋蔵文化財発掘調査報告会）

当年度に青森県内で行われた埋蔵文化財発掘調査の成果及び埋蔵文化財の活用に関する事例を広く県民に公開し、青森県の歴史と埋蔵文化財の保護・活用について理解を深めてもらうことを目的に開催している。

平成2年度に開催した「青森県埋蔵文化財発掘報告会」を平成3年度に「青森県埋蔵文化財発掘調査報告会」と改称し、それ以降毎年開催していたが、令和5年度からは体験学習と活用事業に関する展示を加えた「あおもり発掘フェア」として開催している。

フェアでは、県、県内市町村及び大学が今年度を含む近年に行った発掘調査について、紙上報告を含めた11遺跡の成果を速報した。来場者にはレジュメを配布した。

（PDFデータは当センターホームページで公開中。）スライドショーによる成果発表は12月21日（土）に大研修室で開催した。出土品・パネル展示は、12月21日（土）・22日（日）に第5・6研修室で行い、出土品221点と写真パネルを展示した。体験学習会は第1多目的室で行った。また、受付付近では県立図書館による関連図書の展示・貸出しを行った。なお、令和6年度は「地元の縄文」再発見フェアinとうせいと併催したため、参加者数は昨年度より大幅に増加した。

開催日 令和6年12月21日（土）・22日（日）

場 所 青森県総合社会教育センター（青森市）

参加者数 388人

実施内容

○発掘調査成果報告（スライドショーによる成果発表）及び出土品・パネル展示

- ・平内町大栗山遺跡（当センター）
- ・弘前市史跡津軽氏城跡弘前城跡（弘前市公園緑地課）
- ・弘前市清水森西遺跡（弘前大学人文社会科学部）
- ・弘前市旧陸軍第八師団庁舎跡（弘前大学人文社会科学部）
- ・おいらせ町中野平遺跡第63地点（おいらせ町教育委員会）
- ・風間浦村古釜谷平（2）遺跡（当センター）
- ・むつ市川守町遺跡（当センター）
- ・つがる市吉田遺跡（当センター）
- ・横浜町林ノ後遺跡（当センター）
- ・横浜町林尻遺跡（当センター）
- ・東北町長者久保遺跡（東京大学大学院人文社会系研究科）※紙上報告のみ
- ・当センターの普及・活用に関する取組 ※スライド映写のみ

○体験学習会

- ①「本物の土器や石器にさわろう」（縄文土器や石器を見学者が自由に触る体験）
- ②「ならべてみよう」（縄文時代早期から晩期までの縄文土器破片を時期の順に並べるクイズ）

- ③ 「なかまみつけ」(縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器の破片から縄文土器を抜き出すクイズ)
- ④ J O M O N 缶バッジ作り (縄文土器の破片にかぶせた紙の上を色鉛筆でこする「乾拓」でできたカラフルな拓本を缶バッジにする体験)
- ⑤ 「火起こし体験」(市販の火起こし道具セットを使っての火起こし体験)
- ⑥ 「木の実割り体験」(河原石を使ってクルミやトチノミの殻を割る体験)

◇開催実績

年 度	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度
参加者数 (人)	※1		195	206	388※2
報告遺跡 (件)	7	7	15	12	11
出土品展示数 (点)	展示なし	展示なし	526	535	221

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため資料配布とオンライン配信のみ

※2 「地元の縄文」再発見フェアinとうせいと併催

4 センター収蔵資料の活用

(1) 主催事業

ア 「地元の縄文」再発見プロジェクト事業 (重点枠事業) (令和4年度～6年度)

「地元の縄文」の価値や魅力を多くの県民に分かりやすく伝え、青森に生まれた子ども達が「青森の縄文に触れた原体験」を誇りに思うことができるよう「地元の縄文」の活用促進を目的とする「取組1」と、「地元の縄文」の魅力の再発見と情報の発信を行う「取組2」を実施。

(ア) 取組1 (活用促進)

① 地域連携会議

各対象地域市町村と埋蔵文化財の活用促進について意見交換するとともに、「地元の縄文」再発見フェア開催地域における発掘成果と出土品に関する概要報告、県所蔵出土品の活用案の提示、埋蔵文化財の保護と活用に関する事例報告等を行った。

【上北地域】7月3日(水)三沢市役所

【東青地域】10月22日(火)青森県埋蔵文化財調査センター

② 教材の制作

地域の発掘調査による出土品を用いた教材「あおもり縄文遺物セット」及び指導者用の取扱説明書を制作し県内全市町村に配布。令和6年度は上北地域と東青地域が対象。1セットの内容は、土器破片40点以上、石器10～12点、取扱説明書3部

【上北地域】28セット制作 上北地域全9市町村教育委員会に配布

【東青地域】32セット制作 東青地域全5市町教育委員会に配布

(イ) 取組 2 (魅力再発見・情報発信)

① 「地元の縄文」再発見フェアの開催

「地元の縄文」の魅力を再発見してもらうため、出土品展示会、体験学習会、講演会・シンポジウムの3要素で構成されるフェアを開催した。令和6年度は上北地域・東青地域を対象とした。

◎ 「地元の縄文」再発見フェアinかみきた

開催期間：9月14日(土)～16日(月・祝)

共 催：三沢市教育委員会・青森県総合社会教育センター

会 場：三沢市公会堂

来場者数：863人(14日：229人、15日：343人、16日：291人)

i 出土品展示会：上北地域の出土品1,257点露出展示、パネル：173点展示

ii 体験学習会

出土品に触れたり昔の道具を使用しながら縄文時代について学ぶ

・クイズ「(縄文土器を古い順に)ならべてみよう」「(縄文土器の)なかまみつけ」

・ハンズオン「(土器や石器に)さわってみよう」

・ものづくり体験「(カラフルな拓本で)JOMON缶バッジ作り」

・縄文体験 「弓矢体験」・「石器を使って紙を切る」・「敲石を使ったクルミ割り」

iii 講演会・事例報告・シンポジウム

参加者数 132人

基調講演「かみきたの縄文時代」小山 彦逸(七戸町教育委員会)

事例報告「かみきた中部の縄文時代」工藤 司(三沢市教育委員会)

「かみきた南部の縄文時代」山崎 武(十和田市教育委員会)

「かみきた北部の縄文時代」岡本 洋(当センター)

iv シンポジウム「再発見“かみきたの縄文”-上北ならではの縄文文化を語る-」

パネリスト：小山 彦逸・工藤 司・山崎 武・岡本 洋

コーディネーター：木村 高(当センター)

※当日フェアレジュメ及び上北地域の縄文カードを配布



◎ 「地元の縄文」再発見フェアinとうせい

開催期間：12月21日（土）～22日（日）

共 催：青森市教育委員会・青森県総合社会教育センター

会 場：青森県総合社会教育センター

来場者数：388人（21日：213人、22日：175人）

i 出土品展示会：東青地域の出土品650点展示、パネル126点展示

ii 体験学習会：「弓矢体験」・「石器を使って紙を切る」・「敲石を使ったクルミ割り」・「火起こし」

iii 講演会・事例報告・シンポジウム

参加者数 113人

特別講演「縄文世界の土偶-青森県出土の土偶を取り混ぜて-」

原田 昌幸（元文化庁主任文化財調査官・國學院大学非常勤講師）

事例報告「とうせいの縄文-後期の墓制と環状列石を中心に-」

児玉 大成（青森市教育委員会）

「とうせいの縄文2-今別町・外ヶ浜町の縄文時代-」

木村 高（当センター）

「とうせいの縄文3-蓬田村・青森市・平内町の縄文時代-」

岡本 洋（当センター）

iv シンポジウム「再発見“とうせいの縄文”-東青地域の縄文文化の多様性を探る-」

パネリスト 原田 昌幸・児玉 大成・岡本 洋

コーディネーター 木村 高（当センター）

※当日フェアレジュメ及び東青地域縄文カードを配布



② あおもり縄文カードの作成

青森県内全40市町村から出土した縄文遺物の写真に解説文を添えたカードを作成し、当センター及び県内の道の駅・登録博物館・博物館類似施設、その他各地の拠点的な公開施設等で合計57,600枚（1種類につき900枚）配布した。

(ウ) 過年度の取組実績

◇令和4年度

取組内容	期日等	下北地域	中南地域	
地域連携会議	開催期日	7月1日	9月30日	
	会場	むつ市中央公民館	黒石公民館	
教材セット制作数		22セット	38セット	
「地元の縄文」 再発見フェア	開催期日	9月17・18日	11月26・27日	
	会場	むつ来さまい館	スポカルイン黒石	
	展示物	遺物	560点	650点
		展示パネル	172点	164点
	観覧者数	395人	395人	
	(1日目)	110人	178人	
(2日目)	285人	217人		
シンポジウム参加者数	70人	77人		
あおもり縄文カード作成数		100種類	85,000枚	

◇令和5年度

取組内容	期日等	三八地域	西北地域	
地域連携会議	開催期日	7月15日	9月29日	
	会場	三戸町中央公民館	五所川原市中央公民館	
教材セット制作数		40セット	20セット	
「地元の縄文」 再発見フェア	開催期日	9月16・17・18日	11月11・12日	
	会場	三戸町民体育館 三戸町中央公民館	五所川原市中央公民館	
	展示物	遺物	1,150点	651点
		展示パネル	199点	152点
	観覧者数	488人	413人	
	(1日目)	108人	184人	
(2日目)	208人	229人		
(3日目)	172人	—		
シンポジウム参加者数	76人	75人		
あおもり縄文カード作成数		100種類	80,000枚	

イ 夏休みに考古学者になろう

郷土の歴史に親しみながら埋蔵文化財保護の意識を高めることを目的に、児童・生徒が実際の発掘調査や整理作業を体験するイベント。平成14年から実施し、令和6年度で第21回となった。

(ア) 発掘体験（7月24日）

会場：つがる市吉田遺跡

内容：遺物包含層の掘削と遺物の観察

参加者数：児童・生徒12人、保護者9人、計21人

(イ) 整理体験（7月25日）

会場：青森県埋蔵文化財調査センター

内容：埋蔵文化財調査センターの概要説明、施設見学、土器の接合、拓本、実測図作成と遺物の観察

参加者数：児童・生徒4人、保護者4人、計8人



◇開催実績

年 度	2・3年度	4年度	5年度	6年度
発掘体験	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	八戸市北熊ノ沢(2)遺跡・毛合清水(3)遺跡	青森市米山(2)遺跡	つがる市吉田遺跡
参加者数		児童・生徒12人 保護者9人、計21人	児童・生徒12人 保護者6人、計18人	児童・生徒12人 保護者9人、計21人
整理体験		YSアリーナ八戸	当センター	当センター
参加者数		児童・生徒11人 保護者7人、計18人	児童・生徒12人 保護者6人、計18人	児童・生徒4人 保護者4人、計8人

ウ 見学等

(ア) 展示見学

青森県の歴史や埋蔵文化財の保存・活用について理解を深めてもらうため、発掘調査成果及び出土品を来館者に展示・公開している。平日9時から16時まで自由に見学可能（年末年始及び年度末から年度始めの2週間は見学不可）。

正面玄関ホールでは、令和元年度から継続して五所川原産須恵器大甕3点（山元（3）遺跡、野尻（2）遺跡出土）及び前々年度に刊行した発掘調査報告書に掲載している出土品等を中心に展示している。

(イ) 施設見学

学校などの団体を対象とした施設見学を実施している。内容は当センターの施設や業務について職員が解説・紹介するもので概ね小学校高学年以上が対象。課外授業等で活用されている。（事前の予約が必要。）

(ウ) 蔵書閲覧

当センターの蔵書を閲覧できるサービス。平日のみ対応し、事前申込が必要。

◇所内展示実績

年 度	概 要
6 年 度	<ul style="list-style-type: none">・「ミニ常設展」として縄文時代から平安時代の出土品を展示（縄文時代の土偶等46点、津軽地域の土師器坏21点）・パネル展示：令和5年度に当センターが行った発掘調査成果の紹介（「あおもり発掘フェア2024」レジュメより）、むつ市酪農（3）遺跡の解説や大型の土偶写真（小川忠博氏撮影）、東北自動車道建設に伴う発掘調査の空中写真（大平遺跡、砂沢平遺跡、古館遺跡、大面遺跡、永野遺跡）、「地元の縄文」再発見プロジェクトの紹介
5 年 度	<ul style="list-style-type: none">・「ミニ常設展」として特定のテーマを設けず縄文時代から平安時代の珍しい出土品を34点展示・パネル展示：むつ市酪農（3）遺跡の解説や大型の土偶写真（小川忠博氏撮影）、東北自動車道建設に伴う発掘調査の空中写真（大平遺跡、砂沢平遺跡、古館遺跡、大面遺跡、永野遺跡）、「地元の縄文」再発見プロジェクトの紹介
4 年 度	<ul style="list-style-type: none">・「新収蔵展」として令和2年度に報告書を刊行した猪ノ鼻（1）・（2）遺跡、林ノ脇遺跡、古野（2）遺跡の出土品のほか、水上（2）遺跡出土土偶や二股（2）遺跡、山田（2）遺跡、涌館遺跡、熊ヶ平遺跡、沢ノ黒遺跡出土の珧状耳飾を展示
3 年 度	<ul style="list-style-type: none">・「新収蔵展」として令和元年度に報告書を刊行した後平（1）・（4）遺跡、長谷川遺跡、銅屋（1）遺跡、古野（3）遺跡、館遺跡、西張（3）遺跡、米山（2）遺跡の出土品を展示

◇一般見学者数実績（単位：人）

年 度	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度
見学者数	17	10	30	74	69

◇年度別施設見学件数及び参加者数（単位：件、人）

年 度	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度
件 数	1	1	2	2	1
参加者数	3	17	38	56	10

◇蔵書閲覧の実績（閲覧者数の単位：件）

年 度	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度
件 数	0	0	3	2	1

（２）依頼による活用事業

ア ジョブキッズあおもり

ジョブキッズあおもりコンソーシアムが企画・運営する児童を対象とした職業体験。当センターにおいて整理作業体験を行った。

◇開催実績

年 度	2・3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度
期 日		8 月 19 日	8 月 18 日	8 月 8 日
内 容	新型コロナ ウイルス感 染症拡大防 止のため実 施せず	土器の拓本 遺物の観察 縄文施文体験	センター概要説明 断面実測 土器の拓本 遺物の観察	センター概要説明 断面実測 土器の拓本 遺物の観察
参加者数		20人 〔 児 童 10 人 〕 〔 保 護 者 10 人 〕	15人 〔 児 童 7 人 〕 〔 保 護 者 8 人 〕	16人 〔 児 童 8 人 〕 〔 保 護 者 8 人 〕

イ 生涯学習フェア

当センターの教材を利用した体験活動等を実施し、地域の歴史と文化財保護についての理解を深める機会とする。

主催・会場 青森県総合社会教育センター（3Fエレベーター前ホール）

日 時 令和6年10月5日（土） 10:30～15:30

出展内容 「ほんものの縄文土器にふれよう」

① 当センターが発掘した遺物を用いて、縄文土器や石器に触れるハンズオン体験

② 縄文土器の模様をクーピーで写し取ったものをバッジにするJOMON缶バッジ体験

参加者数 85人

◇開催実績

年 度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
開催日	※	※	10月1日	10月7日	10月5日
参加者数			参加せず	138人	85人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催せず

ウ 出張展示・連携展示

当センター以外の場所で所蔵品を展示する事業。市町村主催の短期間の催しでゆかりの出土品を展示する出張展示と、県内の市町村教育委員会と連携して、一定期間の展示を行う連携展示がある。令和6年度は以下のとおり実施した。

(ア) 出張展示

①GW企画！SHIRAKAMI×JOMON ミニ展示

会 場 白神山地ビジターセンター
 日 時 令和6年4月27日（土）～5月6日（月）全日8:30～17:00
 展示内容 津軽ダム建設に伴う縄文時代遺跡の解説パネルを展示。
 来場者数 2,867人 ※展示期間の来館者数

②横浜町公民館まつり

会 場 横浜町ふれあいセンター
 日 時 令和6年10月26日（土）9:30～17:00、27日（日）9:30～15:00
 展示内容 主に林ノ後遺跡の写真パネル・遺物展示、資料配布、職員解説
 参加者数 170人

③西目屋村民文化祭

会 場 西目屋村中央公民館
 日 時 令和6年11月17日（日）10:00～14:00
 展示内容 津軽ダム建設に伴う縄文時代の出土品及び解説パネルを展示。
 関連遺跡の報告書も陳列。
 来場者数 約300人 ※文化祭全体の来場者数



◇開催実績

	2年度	3・4年度	5年度	6年度
開催地	むつ市	実績なし	①七戸町 ②横浜町 ③西目屋村 ④西目屋村	①西目屋村 ②横浜町 ③西目屋村
開催日	9月12・13日		①7月2日 ②10月28・29日 ③11月19日 ④2月18日	①4月27日 ～5月6日 ②10月26・27日 ③11月17日
参加者数	105人		①134人 ②156人 ③320人 ④596人	①2,807人 ②170人 ③約300人

(イ) 連携展示

①西目屋村中央公民館での連携展示

会 場 西目屋村中央公民館

日 時 令和6年11月18日(月)～令和7年3月31日(月)

展示内容 津軽ダム建設に伴う縄文時代の出土品及び解説パネルを展示。

◇開催実績

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
開催地	実績なし	実績なし	実績なし	実績なし	白神ビジターセンター
期 間					11月18日 ～3月31日
参加者数					2,867人※

※開催期間中の来館者人数

エ 講師派遣

埋蔵文化財や考古学に関する講演・講座にセンター職員を派遣し、埋蔵文化財に対する県民の理解を深め、埋蔵文化財保護意識を醸成する。

◇令和6年度の派遣概要

派遣先	日 時	講演テーマ	参加者数
当センター (青森市西部市民センター講座)	6月18日(火) 10:00～12:00	埋文センターへ行って遺物を見てみよう!	9人
今別町中央公民館集会室 (今別町公民館歴史講座)	6月20日(木) 17:00～18:00	今別町の歴史景観	14人
当センター (青森市北部市民センター講座)	7月16日(火) 10:00～12:00	「見る・触れる」地元の縄文文化を学ぼう!～縄文時代の環境と生活～	17人

派遣先	日時	講演テーマ	参加者数
青森市油川市民センター (青森市油川市民センター講座)	8月28日(水) 10:00～12:00	発掘調査成果からみたく つわの変遷と食文化	10人
青森市東部市民センター (青森市東部市民センター講座)	10月23日(水) 10:00～12:00	青森市東部の奈良・平安 時代	17人
青森市東部市民センター (青森市東部市民センター講座)	10月30日(水) 10:00～12:00	文化財から見た青森市東 部の江戸時代	20人
野辺地町中央公民館 (県出前トーク)	11月12日(火) 18:00～19:30	出前トーク 意外にある ある、地元の遺跡!	18人
青森市立北小学校	11月20日(水) 14:35～15:15	キャリア教育出前講座	12人
青森市中央市民センター (青森市中央市民センター講座)	11月26日(火) 10:00～12:00	遺跡から見た古代の青森 で起きた災害	20人
就労サポートセンターほほ 笑み	11月27日(水) 13:30～14:30	あおもりまいぶんおでか けワークショップ	13人
むつ市中央公民館 (むつ市民大学講座)	1月16日(木) 13:30～15:30	むつ市の縄文遺跡ー最近 の調査からー	48人
弘前市中央公民館 (県出前トーク)	1月16日(木) 10:00～11:30	出前トーク 意外にある ある、地元の遺跡!	19人
青森山田高等学校	2月18日(火) 13:30～14:20	縄文時代の石器作り体験	28人

◇講師派遣実績(単位:件、人)

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
件数	0	0	5	5	13
参加者数(約)	0	0	230	160	245

オ 写真資料の掲載許可

発掘調査及び報告書刊行に伴い当センターが撮影した写真資料について、書籍等への掲載依頼に応じ掲載を許可するもの。

◇写真資料掲載許可件数(件)

使用目的\年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
展示等	7	6	3	12	6
動画・書籍	38	27	23	14	12
論文等	2	1	2	2	2

カ 収蔵品の貸出し

収蔵品を外部からの依頼に応じて貸し出し、公開・活用に供するもの。主に博物館等での展示のほか、研究目的での貸出しも増加傾向にある。

令和6年度は20件、730点の収蔵品を貸し出した。

◇令和6年度の貸出し実績

	貸出先	内 容	目 的
①	つがる市教育委員会	中の平遺跡出土土器等 5点	つがる市縄文住居展示資料館（カルコ）常設展示資料
②	七戸町教育委員会	二ツ森貝塚出土鹿角製櫛 （県重宝）等 201点	二ツ森貝塚館常設及び企画展示資料
③	弘前市立博物館	境関館遺跡出土品 6点	弘前市立博物館常設展示資料
④	五戸町教育委員会	西張平遺跡出土品 58点	このへ郷土館常設展示資料
⑤	おいらせ町教育委員会	中野平遺跡出土品 2点	おいらせ阿光坊古墳館常設展示資料
⑥	研究者	縄文土器片 17点	出土品の分析
⑦	研究者	林ノ前遺跡出土品 50点	出土品の分析
⑧	三内丸山遺跡センター	林ノ脇遺跡ほか出土品 85点	特別展「恵みの海と縄文」 展示資料
⑨	六ヶ所村立郷土館	上尾駁（2）遺跡出土品 7点	企画展「縄文美子がいた六ヶ所村4千年前の世界」展示資料
⑩	青森山田中学校	縄文土器 7点	中学校美術科授業の教材
⑪	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	近野遺跡ほか出土品 27点	企画展「一合掌土偶国宝指定15周年記念一合掌土偶ができたころ」展示資料
⑫	三内丸山遺跡センター	岩渡小谷（4）遺跡ほか出土品 23点	特別展「海が結ぶ縄文」 展示資料
⑬	松戸市博物館 （千葉県）	尻高（4）遺跡ほか出土品 8点	企画展「異形土器 縄文時代の不思議なうつわ」展示資料
⑭	長者ヶ原考古館 （新潟県糸魚川市）	宮田館遺跡ほか出土品 70点	特別展「糸魚川を旅立ったヒスイ」展示資料
⑮	研究者	舟場向川久保（2）遺跡出土品 124点	出土品の分析
⑯	平内町立東小学校	縄文土器等 1式	小学校社会科授業の教材

	貸出先	内 容	目 的
⑰	三内丸山遺跡センター	熊ヶ平遺跡遺跡出土食品炭化物 2点	企画展「衣食住から探る縄文人の暮らし」展示資料
⑱	研究者	鉢森平（7）遺跡出土品 1式	出土品の分析
⑲	三内丸山遺跡センター	内田（2）遺跡ほか出土品 35点	特別展「縄文時代のはじまり」展示資料
⑳	研究者	堀端（1）遺跡出土品 1式	出土品の分析

◇年度別貸出し実績

年 度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
件 数	11	13	16	16	20
点 数	853	396	905	599	730

キ 資料調査

資料借受けに先立つ事前調査や研究目的での調査を受け入れている。

令和6年度は28件、2,230点の依頼に対応した。

◇資料調査の対応実績

年 度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
件 数	5	20	28	13	28
点 数	387	1,059	3,235	3,235	2,230

5 刊行物一覧

- ① 鉢森平（7）遺跡 青森県埋蔵文化財調査報告書第647集
- ② 林ノ後遺跡 青森県埋蔵文化財調査報告書第648集
- ③ 郷山前村元遺跡 青森県埋蔵文化財調査報告書第649集
- ④ 鳴瀬遺跡 青森県埋蔵文化財調査報告書第650集
- ⑤ 研究紀要第30号

※①～⑤については、PDFデータを全国遺跡報告総覧に登載した。

当センターがこれまでに刊行した発掘調査報告書及び研究紀要の登載先URL

<https://sitereports.nabunken.go.jp/ja>

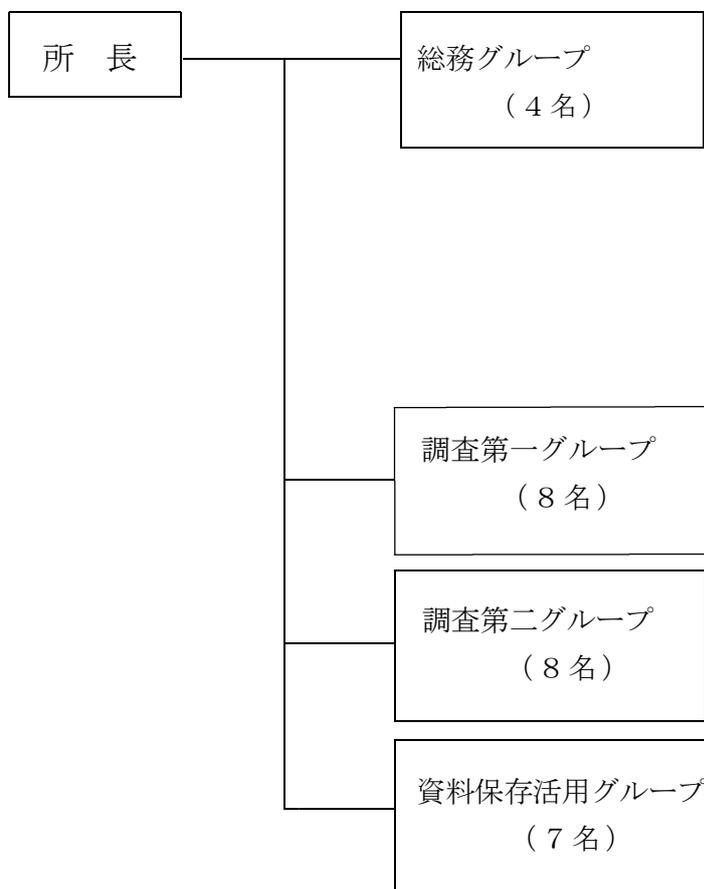
◇報告書刊行実績は、本要覧3～4ページを参照のこと。

◇研究紀要刊行実績

年 度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
号 数	26	27	28	29	30
総頁数	30	90	127	92	84

【令和7年度の計画】

1 組織・職員現員・業務



【総務G】

- 予算管理、執行
- 施設設備管理
(センター、各収蔵庫)
- 発掘調査・整理・研究等に係る
物品調達・管理
- 監査、検査、庶務
- 整理作業員任用
- 情報公開

【調査第一G、調査第二G】

- 埋蔵文化財の調査・研究
 - ・ 記録保存のための発掘調査
 - ・ 出土した文化財の整理・調査報告書の刊行
 - ・ 安全衛生
 - ・ 発掘作業員任用
 - ・ 職員研修
- 埋蔵文化財の活用
 - ・ 発掘現地説明会の開催
 - ・ 発掘調査情報発信

【資料保存活用G】

- 埋蔵文化財の保存管理
 - ・ 発掘調査記録類、出土遺物、関連図書等の資料の収蔵、保管
- 埋蔵文化財の活用
 - ・ 資料の貸出、展示、発掘成果の公開
 - ・ あおもり発掘フェアの開催
- その他の文化財保護に関する業務
 - ・ 広報活動、研究紀要の刊行、専門的技術指導等

2 埋蔵文化財発掘調査事業、整理・報告書刊行事業

開発事業により消滅する埋蔵文化財包蔵地を発掘調査し、記録保存のための報告書を作成・刊行する。

(1) 発掘調査事業

令和7年度は、7事業・7遺跡（調査予定面積16,950㎡）の発掘調査を行う予定である。

ア 原型炉基盤整備事業（六ヶ所村弥栄平（1）遺跡）

所在地 上北郡六ヶ所村尾駈字表館地内
調査期間 令和7年5月8日（水）～令和7年10月31日（金）
調査対象面積 8,800㎡
委託者 新むつ小川原株式会社

イ 弘前柏線中崎工区道路改築事業（弘前市野脇（1）遺跡）

所在地 弘前市大字中崎地内
調査期間 令和7年5月8日（木）～令和7年10月24日（金）
調査対象面積 1,800㎡
委託者 青森県県土整備部（道路課）

ウ 稻盛千代町山田線道路改築事業（つがる市吉田遺跡）

所在地 つがる市森田町下相野吉田地内
調査期間 令和7年5月8日（木）～令和7年8月29日（金）
調査対象面積 4,000㎡
委託者 青森県県土整備部（道路課）

エ 名久井岳公園線道路改築事業（南部町法光寺遺跡）

所在地 三戸郡南部町大字法光寺地内
調査期間 令和7年9月16日（火）～令和7年10月31日（金）
調査対象面積 750㎡
委託者 青森県県土整備部（河川砂防課）

オ 県営三戸地区中山間地域総合整備事業（三戸町駒木（2）遺跡）

所在地 三戸郡三戸町大字梅内地内
調査期間 令和7年6月3日（火）～令和7年8月15日（金）
調査対象面積 700㎡
委託者 青森県農林水産部（農村整備課）

(2) 整理・報告書刊行事業

令和7年度は、5事業・6遺跡に係る発掘調査報告書5冊（合計772頁）の刊行と1遺跡の整理作業（計214頁相当）を行う予定である。

ア 下北北部地区中山間地域総合整備事業（古釜谷平（2）遺跡）

所在地 下北郡風間浦村大字蛇浦字古釜谷平地内
刊行予定頁数 96頁
委託者 青森県農林水産部（農村整備課）

イ 国道338号大湊Ⅱ期バイパス道路改築事業（川守町遺跡）

所在地 むつ市大字川守町地内
刊行予定頁数 150頁
委託者 青森県県土整備部（道路課）

ウ 国道279号横浜北バイパス道路改築事業（林ノ後遺跡・林尻遺跡）

所在地 上北郡横浜町字林ノ後、字中柁名木、字林尻地内
刊行予定頁数 86頁
委託者 青森県県土整備部（道路課）

エ 稲盛千代町山田線道路改築事業（吉田遺跡）

所在地 つがる市森田町下相野吉田地内
整理予定頁数 214頁（令和8年度以降刊行予定）
委託者 青森県県土整備部（道路課）

オ 内童子渡沢外通常砂防事業（大栗山遺跡）

所在地 東津軽郡平内町大字松野木字大栗山地内
刊行予定頁数 40頁
委託者 青森県県土整備部（河川砂防課）

カ 新青森県総合運動公園整備事業（米山（2）遺跡）

所在地 青森市大字宮田字米山地内
刊行予定頁数 400頁
委託者 青森県県土整備部（都市計画課）

3 出土品等の保存・再整理

(1) 保存処理

未処理の出土品については、当センターの保存処理機器により、年間木製品20点、金属製品20点を処理する計画で、令和11年度までに木製品100点、金属製品100点の保存処理を計画している。これらに付随して、当センター保有機器によるX線透過撮影や赤外線撮影も実施する。

また、保存処理済みで再保存処理が必要な出土品は870点以上あり、令和7年度は、うち2点を文化庁の国庫補助事業を活用した業務委託により再処理する予定である。今後も計画的に再処理を進めていく。

(2) 収蔵品の再整理

令和7年度は、つがる市内及び十和田市内で当センターが実施した発掘調査に係る収蔵品の再整理を実施する予定である。また、令和5年度から実施している外ヶ浜町中ノ平遺跡の出土品についても、継続して整理を実施し、完了する予定である。

これらについては、成果をあおもり発掘フェア2025で公開する予定である。

4 発掘調査事業に係る広報

(1) 現地見学会

令和7年度発掘調査現場において、県民等に向けて調査成果を公開し、地域史への理解を深めてもらうとともに、事業の周知を図る。

開催日決定後、当センターホームページ等で周知する。

(2) 発掘体験・遺跡見学

令和7年度発掘調査現場において、発掘体験及び遺跡見学を実施し、郷土の歴史を学び、埋蔵文化財への興味・関心を深めてもらう。

(3) 速報展示

発掘調査成果を速報として周知するため、遺跡周辺の公共施設等において、調査期間中を中心にパネル展示を実施する。

(4) 講師派遣

主に市町村が主催する講座等に講師を派遣し、当該市町村における最新の発掘調査成果等を受講者に分かりやすく伝える。

(5) 出張展示

最新の発掘調査成果を出土品及びパネルで展示するとともに、過去の調査成果も併せて紹介する。

(6) あおもり発掘フェア

令和7年度は12月20日（土）・21日（日）に青森市内で開催予定。

県内で令和6年度に行われた発掘調査の成果報告と、出土品を用いた体験会を実施予定。

(7) 所内展示

「ミニ常設展」として特定のテーマを設けず縄文時代から平安時代の珍しい出土品を展示する予定。

5 センター収蔵資料の活用

(1) 主催事業

ア 夏休みに考古学者になろう

夏休み期間中の児童・生徒向けのイベント。

令和7年度は発掘体験を六ヶ所村内で、整理体験を当センター内で7月下旬～8月中旬に開催予定。

イ 公開講座

中学生以上が参加できる当センター職員による公開講座。

7月～11月まで月1回、日曜日に開催する。令和7年度の予定は6月頃公開予定。

(2) 依頼による活用事業

令和7年度も以下のとおり所内展示や団体見学、依頼に応じた出張展示、出前授業等を実施する予定。

◇所内での出土品展示見学や蔵書閲覧、団体での見学等

事業	概要	期日・期間等	備考	
見 学 等	展示見学	所内見学コース内の出土品や、パネル等の展示を見学できます。（無料・事前申込不要）	平日※ 9:00～16:00	※年末年始・令和7年3月24日～4月5日・令和8年3月23日～4月3日は見学できません。
	蔵書閲覧	図書室の蔵書を閲覧できます。（無料・事前申込必要）	平日※ 9:00～16:00	閲覧のみ（貸出・コピー不可）
	団体見学	当センターの業務や諸施設を、職員の解説によりご案内します。（事前申込必要）	随時（平日）	10名以上対象 内容、時間をご相談ください。

◇所外での出土品の展示や講座等

事業	概要	期日・期間等	備考
展示	出張展示	文化祭、各種行事等において、センター調査遺跡の出土品やパネル等を展示します。	随時 事前に内容・期間等をご相談ください。
	連携展示	県内の博物館、資料館と連携し、センター調査遺跡の出土品、パネル等を展示します。	
講座	所内講座	埋蔵文化財や考古学に関する講演・講座・講演を所内見学と併せて実施します。	随時（平日） 随時 団体対象 事前に内容・時間等をご相談ください。
	出前講座	埋蔵文化財や考古学に関する講演・講座に当センター職員を派遣します。	
教育支援	学校支援	地元の遺跡の出土品等を用いた教材貸出や講師の派遣により授業を支援します。	随時 随時（平日） 事前に内容・期間等をご相談ください。
	職場体験・インターシッ プ	中・高生の職場体験、大学生のインターンシップを受け入れます。（事前申込必要）	

6 令和7年度主要行事予定

期日	事業名	会場
7月下旬～8月上旬	夏休みに考古学者になろう	詳細未定
月1回（7月～11月）	公開講座	当センター
12月20日（土）～21日（日）	あおもり発掘フェア2025	青森県総合社会教育センター

資 料

1 図書の受入状況

◇年度別図書受入（冊）（1月31日現在）

年 度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
受入数	1,271	1,143	871	846	1,293

2 文化財関係研修等への参加状況

職員の資質・能力向上を目的に行われた研修や会議への職員の派遣状況

（1）文化財担当者研修（奈良文化財研究所主催）

◇令和6年度の派遣状況

期 間	9月25日～27日	9月30日～10月4日	10月21日～29日
内 容	自然科学分析外注 課程	遺跡調査技術課程	保存科学（木質遺物） 課程
受講者	長谷川 大旗	長谷川 大旗	藤田 祐

◇年度毎の派遣状況

年 度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
内 容	受講者 なし	受講者 なし	文化財写真課程	①木質文化財の科学的調査基礎課程 ②保存科学（金属製遺物）	①自然科学分析外注課程 ②遺跡調査技術課程 ③保存科学（木質遺物）課程
受講者			長谷川 大旗	①・②藤田 祐	①・②長谷川 大旗 ③藤田 祐

（2）文化庁主催の研修会等

ア 埋蔵文化財担当職員等講習会

◇年度別参加状況

年 度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
開催地	文化庁	中止	金沢市	和歌山市	山形市
日 程	8月26日		8月31日・ 9月1日	1月31日・ 2月1日	9月18日 ～20日
受講形式	オンライン		オンライン	オンライン	オンライン
参加者	浅田 智晴 工藤 忍		中村 哲也	藤田 祐	佐藤 智生

イ 文化財マネジメント職員養成研修会

◇年度別参加状況

年 度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
開催地	神奈川県	東京都	新潟県	埼玉県	静岡県
日 程	9 月 8 日 ～11日	2 月 7 日 ～10日	9 月 26 日 ～29日	11月 7 日 ～10日	10月 29 日 ～11月 1 日
受講形式	参加なし	オンライン	参加なし	参加なし	参加なし
参加者		岡本 洋			

ウ その他

- ① 令和 6 年度 ミュージアム・パブリックリレーションズ研修
開催日時：12月 3 日～6 日 オンライン
受講者：中村 哲也・伊藤 由美子
- ② 令和 6 年度文化財（美術工芸品）保存修理講習会
開催日時：12月 17 日 オンライン
受講者：伊藤 由美子・工藤 忍・藤田 祐
- ③ 令和 6 年度被災文化財対応基礎研修
開催日時：2 月 21 日～3 月 6 日 オンライン（e-ラーニング）
受講者：伊藤 由美子

（3）全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会に関連する会議・研修会

◇令和 6 年度の参加状況

名 称	開催日	場 所	内容等	参加者
総 会	令和 6 年 5 月 30 日・31 日	アートホテル盛岡ほか	総会 記念講演・特別講演 視察見学	所長 渡部 泰雄
第36回 研修会	令和 6 年 10 月 19 日・20 日	須玉ふれあい館ほか	基調講演・事例報告 施設見学・視察見学	資料保存活用 G 総括主幹 茅野 嘉雄
北海道・ 東北地区 ブロック 会 議	令和 6 年 11 月 14 日・15 日	多賀城市市民活動サポートセンター	会議 施設見学 視察見学	総務 G 主事 佐藤 和佳子 資料保存活用 G 総括主幹 伊藤由美子

◇過年度の参加実績

年 度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	
総 会	書面開催	書面開催	6 月 9 日・10 日	6 月 8 日・9 日	
			開催地	那覇市	鹿児島市
			参加者	和田 和男	渡部 泰雄
研修会	資料配布	資料配布	10 月 20 日・21 日	10 月 19 日・20 日	
			開催地	札幌市	高松市
			参加者	工藤 忍	藤原 有希
北海道・ 東北地区 ブロック 会 議	書面開催	書面開催	10 月 7 日	11 月 16 日・17 日	
			開催地	釧路市	八戸市
			参加者	油布 恵美 野村 信生	佐藤 真理 野村 信生

(4) 青森県文化財保護課主催の研修会

◇令和 6 年度の参加状況

	第 1 回	第 2 回
開催場所	つがる市吉田遺跡	青森県庁（オンライン）
開催日	8 月 26 日	2 月 7 日
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財保護行政について（文化財保護課） ・発掘調査現場の安全衛生について（当センター） ・発掘調査の方法（記録・サンプリングについて（当センター） ・つがる市吉田遺跡の発掘調査について（当センター） 	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財保護行政の現状と課題（文化庁） ・近世・近代の埋蔵文化財保護について（文化庁） ・近世・近代の埋蔵文化財保護に関する弘前市の取組（弘前市教育委員会） ・青森県における近世・近代の埋蔵文化財保護の現状と今後（文化財保護課） ・周知の埋蔵文化財包蔵地における届出事務・開発協議等について（文化財保護課） ・令和 6 年度埋蔵文化財・史跡担当者会議の概要について（文化財保護課）
参加者数※	7 人	19 人

※当センター参加者のみ

◇過年度の参加実績

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
開催場所	青森県総合社会教育センター	青森県庁(オンライン)	第1回:七戸町 第2回:青森県総合社会教育センター	第1回:当センター 第2回:青森県庁(オンライン)	第1回:つがる市 第2回:青森県庁(オンライン)
開催日	12月7日	12月22日	第1回:8月31日 第2回:12月15日	第1回:8月31日 第2回:12月15日	第1回:8月26日 第2回:2月7日
参加者数 ※	7人		第1回:2人 第2回:15人	第1回:7人 第2回:19人	第1回:7人 第2回:19人

※当センター参加者のみ

沿革

昭和55年 (1980)	4月1日	青森県埋蔵文化財調査センター設置 本館完成まで教育庁文化課（現文化財保護課）埋蔵文化財整理室使用
	7月1日	青森県埋蔵文化財調査センター開所 本館完成により教育庁文化課埋蔵文化財整理室から移転
昭和57年 (1982)	1月18日	「埋文あおもり」第1号発行（～平成7年第14号）
	12月6日	東北初の弥生期水田跡の立証と研究の功績により「垂柳遺跡調査会（当センター・県教委文化課・県立郷土館）」が東奥賞受賞
平成2年 (1990)	3月16日	八戸市葦窪遺跡(1982年調査)出土の「狩猟文土器」1点が県重宝指定
	3月23・24日	第1回埋蔵文化財調査報告会(現「あおもり発掘フェア」)開催
平成5年 (1993)	7月	松原分室設置(三内丸山遺跡出土品管理作業に対応)
平成6年 (1994)	12月3日	三内丸山遺跡の発掘・研究と積極公開の功績により東奥賞受賞
平成7年 (1995)	4月1日	教育庁文化課内に三内丸山遺跡対策室が設置され、三内丸山遺跡発掘調査及び出土品整理等を引き継ぐ
	6月15日	六ヶ所村大石平遺跡(1984年調査)出土品198点が国重要文化財に指定
平成8年 (1996)	3月29日	「研究紀要」第1号発行
平成10年 (1998)	7月22日	旧情報処理教育センターを一部改修し、当センター新館とし主要機能を移転、木製品・鉄製品の保存処理のための機器及び軟X線透過装置導入、遺物の収蔵展示等の設備拡充が図られる
平成14年 (2002)	8月8・9日	第1回「夏休みに考古学者になろう」開催
平成15年 (2003)	4月14日	六ヶ所村表館(1)遺跡(1987年調査)出土の「細隆起線文尖底深鉢形土器」1点が県重宝に指定
平成25年 (2013)	4月17日	七戸町二ツ森貝塚(1967年調査)出土の「鹿角製櫛(ろっかくせいくし)」と青森市近野遺跡(2003年調査)出土の「人物線刻石冠(せっかん)」の2点が県重宝に指定
令和元年 (2019)	6月27日	新館長寿命化改修工事終了
令和2年 (2020)	10月12日	本館長寿命化改修工事終了

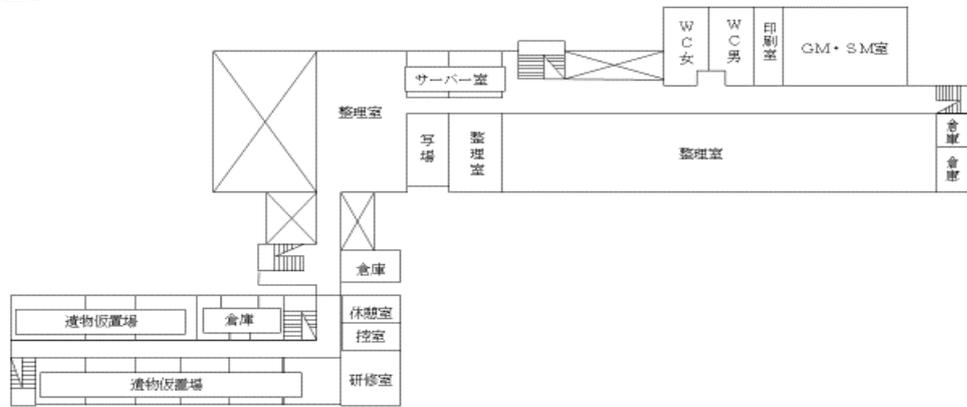
令和4年 (2022)	1月18日	「地元の縄文」再発見プロジェクト実施（～令和6年度） 収蔵庫（体育館）長寿命化改修工事終了
令和5年 (2023)	3月	X線透過装置等、保存処理機器を更新
	12月9・10日	埋蔵文化財調査報告会の内容を見直し、あおもり発掘フェアに名称変更

施設概要

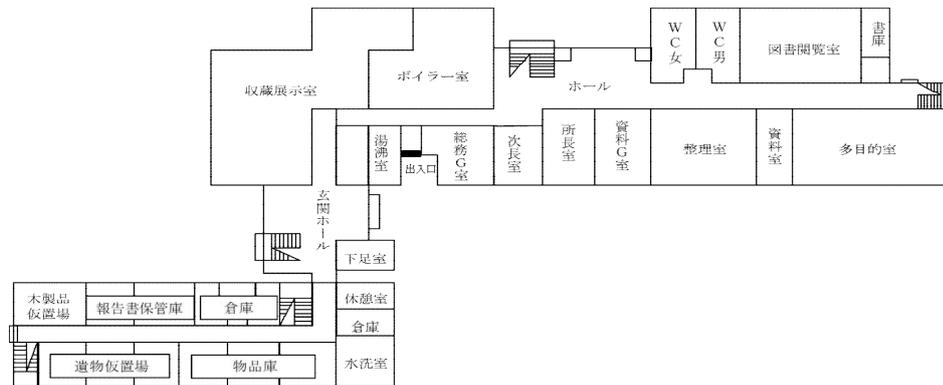
平面図

新館

2階



1階

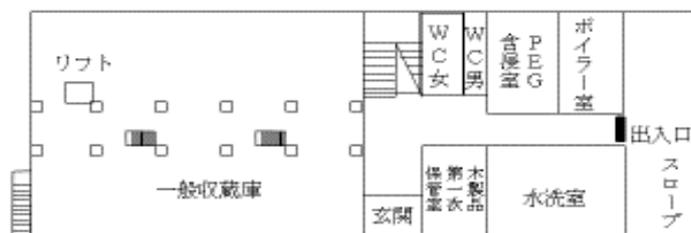


本館

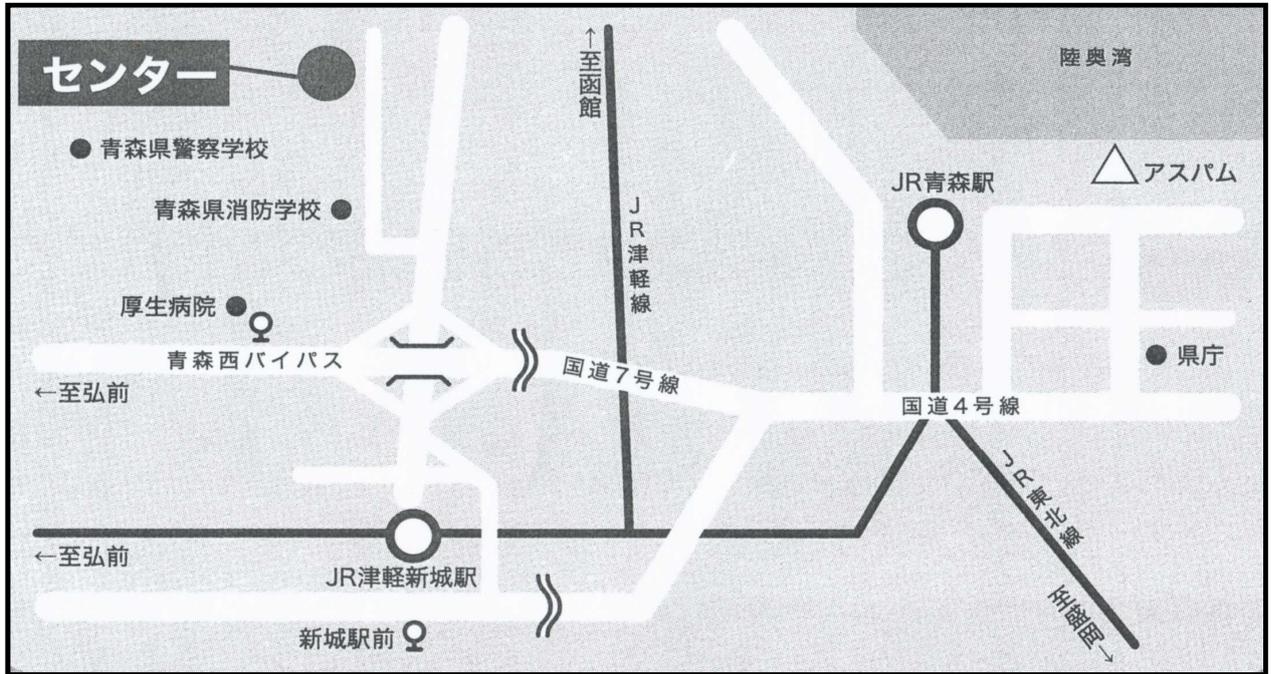
2階



1階



案内図



配置図



令和7年度 青森県埋蔵文化財調査センター 要 覧

令和7年5月12日発行

編集・発行 青森県埋蔵文化財調査センター

〒038-0042

青森市新城字天田内152-15

電話 017-788-5701